



# The Supporters Times

## サポーターズタイムズ



衆議院議員 秋葉賢也 政策・活動レポート

### 初めての『再犯防止推進白書』閣議決定!

昨年12月21日、政府として初めての「再犯防止推進白書」が閣議決定されました。

この「再犯防止推進白書」は、私が長年にわたって事務局長を務める保護司議員連盟と私が委員長代理を務める自民党の再犯防止推進特別委員会が中心となって議員立法で成立させた「再犯の防止等の推進に関する法律」に基づいて、政府が講じた再犯防止に関する取組を国会に報告するために作成されたものです。本白書には、平成29年12月に閣議決定した「再犯防止推進計画」に盛り込まれた115の各種施策について、その進捗状況等が記載されています。

保護司議連や特別委員会では、「世界一安全な日本」を目指し、保護司や協力雇用主の活動に対する支援策の充実など、治安対策や再犯防止対策の充実に尽力してきたところです。その点は、再犯防止推進白書でも触れられておりますが、こうした対策の効果が着実に現れてきています。

まず、わが国の刑法犯の認知件数は、平成14年には約285万件にまで達しましたが、その後15年連続で減少し、平成29年は約91万件と戦後最少を更新し、ピーク時の三分の一にまで減らすことができました。

また、政府は、刑務所出所後2年以内に再び刑務所に戻る者の割合を、平成33年までに20%（基準値）から16%以下にすることを目標にしていますが、その割合は、近年、着実に減少しており、直近の数値は17.3%となっております。

一方で、刑法犯の検挙者数は年々減っておりますが、初犯者の数は大きく減っているものの、繰り返し犯罪をする「再犯者」の数は初犯者に比べるとあまり減っていません。結果として、刑法犯の検挙者全体に占める「再犯者」の割合は上昇傾向にあり、平成29年には48.7%と検挙者の約半数を占めており、引き続き、再犯防止は、重要な課題となっております。

こうした状況を踏まえ、国・地方・民間の三者が連携協力して再犯防止に取り組むことが重要ですので、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を控えて、「世界一安全な日本」を実現するため、政府と協力しながら、数値目標の達成に向けて一層積極的に活動していきたいと思っております。



衆議院議員 秋葉賢也  
環境委員長

愛する街だから必死になれる! 秋葉賢也は走り続けます!!